

県外派遣 審判ミーティング記録表

割当日:平成 31 年 2 月 9 日

審判員名	武井晋平	相手審判	CC生島匡(兵庫)、U2星河聖(群馬)
カード	厚生倶楽部	対	佐賀BALLOONERS
◇ ミーティングの内容			
・メカニクスについてはスムーズにローテーションができており、気になることは無かった。			
・T→Lの際にCとのアイコンタクトができていたのを感じた。			
・EOQの際に、メインロックは誰が管理するのか。二人で鳴ってしまっているケースがあったので確認。			
・外国人選手に対するディフェンスには、もう少し気を配ってあげても良かったのでは。			
《審判主任》 茅野修司氏(大阪)			

割当日:平成 31 年 2 月 10 日

審判員名	武井晋平	相手審判	CC井本誠(熊本)、U2藤田公介(香川)
カード	ST-IWATE	対	三井住友海上火災
◇ ミーティングの内容			
・全体的には、ローテーションもスムーズで良かったと思う。			
・プライマリに任せてもいい判定があった。無理に行かなくてもセカンダリで捉える。			
・Cが積極的に判定をしていた。			
・研修会でのテーマである3vs2について、クルーで意識して確認している姿が見受けられた。			
《審判主任》 浮池亮太氏(福井)			

割当日:平成 31 年 2 月 11 日

審判員名	武井晋平	相手審判	廣瀬涉(東京)・太田匡俊(愛知)
カード	今治オレンジブロッサム	対	アステム湘南ウィクトリアス
◇ ミーティングの内容			
・スクリーンプレーについて、クルーでゲームの出だしから笛を入れていたため、意識しているのを感じた。			
・ゲーム中、足を引っかけたような現象のときにクルーで寄り、UFにグレードを上げるかどうか確認していたが、クルーの連携が取れていたと思う。			
・Lの際のローテーションが遅かったり、逆に早かったりして、ボールサイドにローテーションしたときには、逆にボールが進んでしまっていることがあったため、クローズダウンポジションでプレーを見極めたのち、ローテーションするかの判断をした方が良い。			
《審判主任》 穂川苑子氏(群馬)			